

カルシア改質土 施工事例

施工事例 6

深掘れ窪地の埋戻し用材としての適用事例 君津浅場造成工事

1. 目的	浅場造成を目的とし、窪地の埋戻し材としてカルシア改質土を適用
2. 発注者	千葉県漁業協同組合連合会、君津市、日本製鉄(株)
3. 施工場所	千葉県君津市日本製鉄(株)東日本製鉄所西護岸沖
4. 施工時期	平成25年～令和3年(9ヶ年) ※カルシア改質土施工時期:5月～8月
5. 施工数量	約420,000m ² (約480m×160m×最大厚さ5.8m)
6. 配合・材料	カルシア改質材混合割合:容積混合率30% 使用土砂:近隣の浚渫土 カルシア改質材:粒径0-5mm日本製鉄(株)東日本製鉄所製造
7. 施工方法	バックホウ混合・直接投入

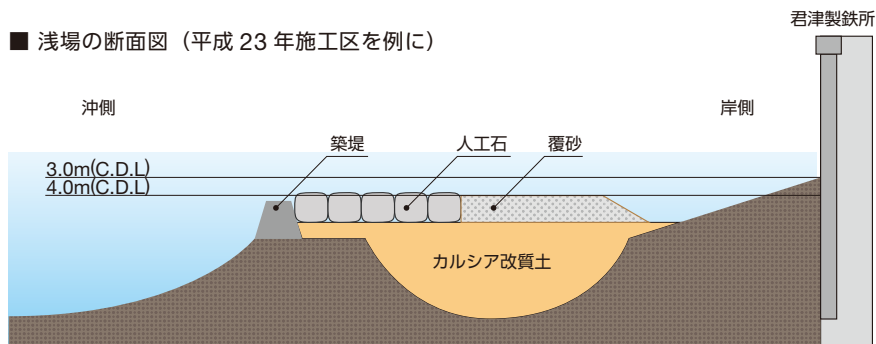
■ 浚渫土の物理特性

土粒子密度 (g/cm ³)	湿潤密度 (g/cm ³)	自然含水比 (%)	液性限界 (%)	細粒分含有率 (%)
2.663	1.303	141.7	103.8	95.6

■ カルシア改質材の物理特性

表乾密度 (g/cm ³)	吸水率 (%)
3.08	4.18

■ 浅場の断面図 (平成 23 年施工区を例に)



注) 水深は大潮の平均的な干潮面を基準としています (C.D.L)



施工状況